

1970年に無人島となった『臥蛇島』が 自衛隊の「離島奪還の訓練場」候補に なりそうだ。

鹿児島県のトカラ列島の無人島「臥蛇島（がじゃじま）」が「離島奪還訓練所」になるかもしれない。

「陸上自衛隊」が本格的な「離島奪還作戦」の訓練場を整備する検討を開始したようなのだ。

『臥蛇島』は標高497mの御岳を最高峰とする古い火山島。

島の直径は約9キロ。

鹿児島市から200キロほど離れた島だ。

島の名前の由来は蛇が待ち伏せしているわけではなく横から見ると、蛇が臥せた形に見えること、らしい。

『臥蛇島』はカツオ漁で知られ、戦前の1940年には133人の島民がいた。敗戦後は人口が激減。若者の減少により過疎化が進み、1970年7月28日に最後の4世帯16人が離島して無人島となった。

写真で見ると『臥蛇島』の周りは



数十～100メートル以上の断崖であり、大規模な港湾の整備は難しく、人力の「はしけ」作業に頼るしかなかった。しかし、船からの荷物の積み下ろし作業は若者が島を出て不可能になったため全島民が島を出た。

無人島になった『臥蛇島』で「陸上自衛隊」はヘリコプターからの降下訓練を実施したことがあり、それなりの実績はある。

◆十島村では『臥蛇島』を無人島として放置すれば「外国人の不法上陸」や「逃亡犯の潜入」が懸念されるとして自衛隊の常駐を求めている。



防衛省は隊員用施設の建設と管理隊員の常駐を検討している。

防衛省側も、《2018年末に改定する防衛力整備の基本指針「防衛計画の大綱」に合わせて策定する2019年度から5年間の「中期防衛力整備計画」》に、訓練施設の整備方針を盛り込みたい考えだという。

【ワイズの驚き】

いつものことだが、自衛隊は訓練場もなく、今までどうするつもりだったのだろうか。富士山麓の演習場では「離島奪還」の訓練は不可能だろう・・・に。

【皆さんのご意見】

- ◆最初の実戦は竹島で決まりですよ？竹島奪還は、ロシアとの北方領土問題にプレッシャーを掛ける意味でも重要です。日本は領土も実力で守り抜く事を示すことは、中国との尖閣問題にも有効です。
- ◆このようなことは早くやるべきだった。日本に手を出せばどうなるか倍返し。空母に対する備えも怠ってはいけない。
- ♥先に竹島を奪還してから竹島を永久的訓練場にすれば誰の迷惑にもならないわ。
- ◆離島奪還施設は必須でしょう。
- ◆日本固有領土で朝鮮半島南に位置する国家に侵略され続けている「竹島」が実践訓練の場に最適であると思うのは私だけではあるまい。
- ◆昔、臥蛇島の灯台の仕事で行ったこと

あるけど、断崖絶壁や、島民が居なくなり今は使われていない港とか、密航者が上陸するにはうってつけな場所だった（実際、密航者が来たそうだし）。離島奪還訓練には適した場所だと思います。

- ◆奪還ということは、一旦、敵に上陸されることを想定しているのか？そんな悠長なことをせずとも、領有を主張している島嶼に防衛施設を建設して、自衛隊を常駐させればいいのでは。すでに、上陸を許している竹島の奪還訓練なら分かるけど。
- ◆中国・韓国、野党は何か言いそう。マスコミも安倍さんとくっつけて偏った報道で国民を煽動しそうだし。ニッポン人頑張れ！中韓北、反日野党マスコミは気にするな。
- ◆島嶼防衛、奪還作戦を想定した演習地は必要。3軍の総合力を発揮する必要もあり今回の候補地は適当ではないだろうか。想定戦域にも近いし。既存の拠点からも遠くなく管理、補給が行える場所も重要。演習地として適当でも遠くでは、その運用に支障がでる。尖閣諸島でやりたいところだけど。
- ◆訓練の成果を竹島奪還で示してもらいたい。
- ◆訓練後、すぐ竹島で実践だな！
- ◆いつまで見てみぬふりかよ、これは遺憾。(笑)政治家先生、次の世代に引き継ぎですか？
- ◆解決できないなら政治家辞めたら！
- ◆税金泥棒は遺憾（イカン）。だ。